

みんなでつなぐ

# ダム水源地ネット

2002.4月号

# 4

散歩道  
源流学のすすめ

こちらダム水源地  
「利賀初午祭」の様様 ほか

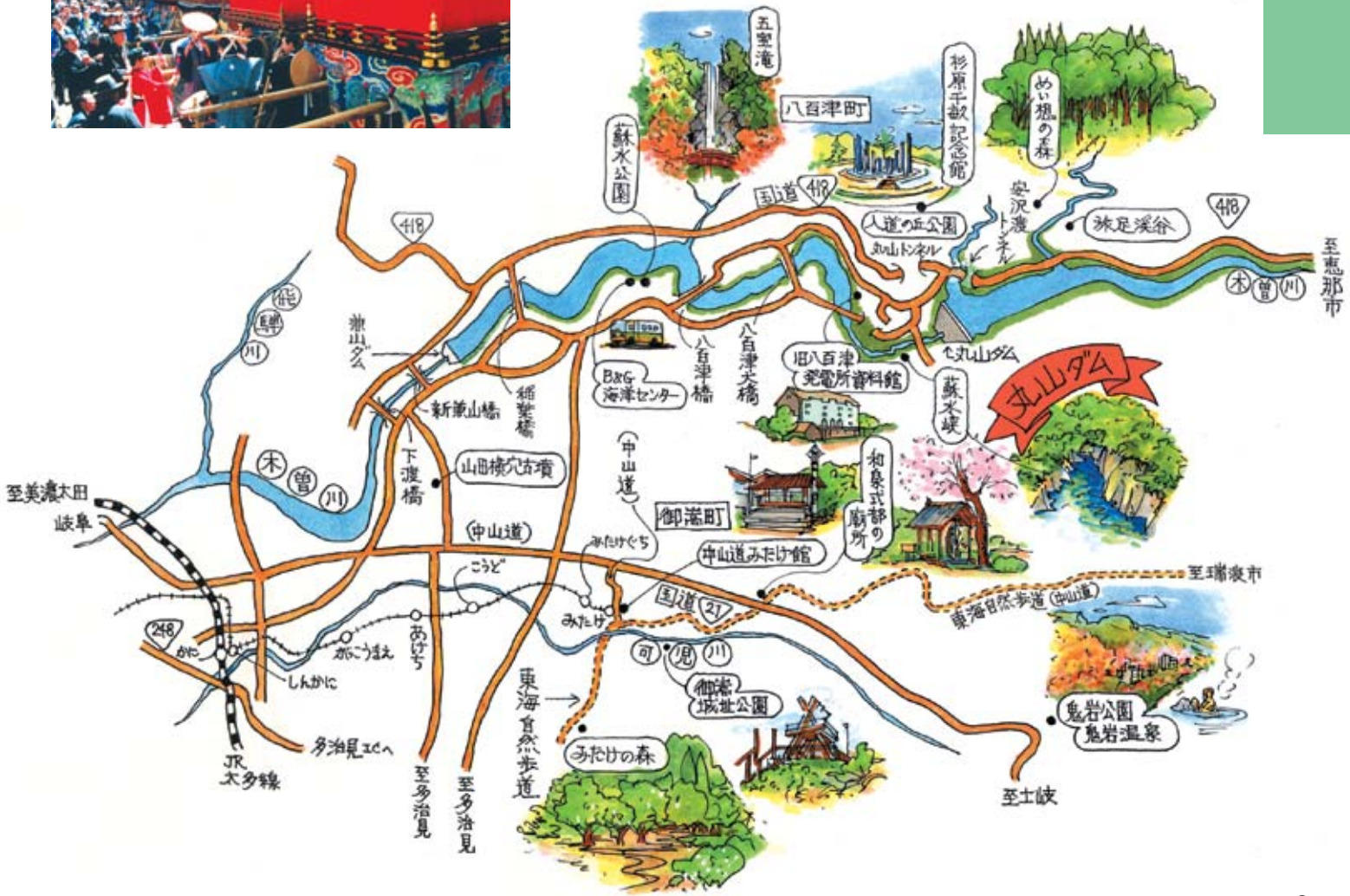
地域活性化レポート  
人と地球に優しく自然と共生

情報ホットライン  
水源地エキスパート制度

# 丸山ダム

飛騨木曾川、

日本一の水系を誇る水の恵み



## 目次

今月の水源地

**丸山ダム**  
飛騨木曾川、日本一の水系を誇る水の恵み —— 2

今月の行事 —— 4

散歩道(パセオ)

**源流学のすすめ** —— 5  
池淵周一

ワンポイント・ゼミナー

**七ヶ宿ダム管理用発電を活用した  
清流回復について** —— 6

こちらダム水源地

**「利賀初午祭」の様** —— 8

**誰もが「田舎」を取りもどしホッとする**  
ちょっと一服、おしゃべり処「ふるさと茶屋・美山案内所」 —— 9

**文弥人形のふるさと尾口村** —— 10

**緑川ダム「第16回ワカサギ釣り大会」開催** —— 11

地域活性化レポート

**人と地球に優しく自然と共生**  
~健康と長寿の町づくりを目指して~ —— 12

情報ホットライン

**水源地エキスパート制度** —— 14

**トピックス** —— 16

(今月の表紙)

**丸山ダム** 雪解けの木曾川

編集事務局：財団法人 ダム水源地環境整備センター ダム広報センター  
所在地：〒102-0083 東京都千代田区麹町2-14-2  
TEL 03-3263-9051 FAX 03-3263-9085  
http://www.wec.or.jp/  
E-mail:koho@wec.or.jp

丸山ダムは、洪水調節と発電を目的として、昭和18年に着工、同31年に完成した多目的ダムです。濃尾平野に流れ出る木曾川水系、御高町と八百津町にまたがり、戦後初のハイダムとして国内最大級の流域を持ちます。現在、更なる洪水調節機能向上のため、昭和61年より「新丸山ダム」が着手され、日本一の高上げ工事を実施しています。

木曾川の水と緑に恵まれた、八百津町

八百津町は、木曾川が東西に流れ、丸山ダム、兼山ダム、蘇水峡、五宝滝など水に関連した観光スポットも多く、豊かな自然に恵まれた美しい町です。飛騨木曾川国定公園にも指定されています。

丸山ダムの周辺には、第二次世界大戦中、ナチスドイツの迫害を逃れようとした約6000人のユダヤ人の命を救った元リトアニア領事代理、杉原千畝氏の遺徳を讃えた「人道の丘公園」や「杉原千畝記念館」、国の重要文化財に指定された「旧八百津発電所資料館」「めい想の森」などもあります。

また、4月の第3土・日は絢爛豪華な山車の上で独創的な操り人形劇が繰り広げられる『久田見祭』が開催されます。是非一度お訪ねください。

深谷美が織りなす、御高町

御高町は、丸山ダム左岸に位置し、かつて京の都と江戸を結んだ中山道が通っており、宿場町として栄えました。今日も随所にその面影を見ることができ、特に東海自然歩道と中山道が重なる沿道には、歴史的遺産が多く点在し古のロマンを感じる人気の観光スポットとなっています。

また、ダム周辺の木曾川は深谷美としても有名で、飛騨木曾川国定公園に指定されています。なかでも「鬼岩公園」「鬼岩温泉」は、花崗岩が浸食されてきた巨岩怪石群による景勝地として、また温泉地としても好評を得ています。

今年には中山道に宿駅制が制定され400年にあたることから、県下の沿線市町村による姫街道400年記念のイベントが行われます。是非「21世紀の宿場町」御高町にお越しください。

### おみやげ

八百津町

八百津せんべい、しし鍋・松茸料理 栗きんとん、こんにやく製品、地酒、味噌・しょうゆ、米酢、そば・うどん

### イベント

御高町

鬼岩せんべい、和菓子菓子だれ、謡坂(うとうざか)自然薯、中山道秘伝五目茶

八百津町

八百津祭り、久田見祭り、蘇水サマーフェスティバル、蘇水峡川祭り、杉原ウイーク

### 交通

御高町

御高町薬師祭礼、みたけの森まつり、「よつてりゃあみたけ」夢いろ街道宿場まつり

八百津町

名鉄広見線明智駅下車バス30分、中央自動車道多治見ICより車で30分、名鉄名古屋駅から広見線御高行1時間10分、中央自動車道土岐ICより車で約15分。

岐阜県 八百津町

経営管理課 課長補佐 脇山 泰男

御高町

企画課 地域振興係長 鍵山 博之 (☎〇五七四 六七 二二二)

4月

《北 陸》

27日(土)～5日(日)/利賀フェスティバル2002(場所:富山県利賀村)主催/財団法人舞台芸術財団演劇人会議【東京事務所☎03-3951-4843利賀事務所☎0763-68-2356(4月3日より)】内容/世界各国の若手演劇集団を主に、大自然の中に造られた合掌造りの舞台や、野外劇場などでの演劇。利賀村では利賀ダムが建設中。  
下旬～上旬/大嵐山水芭蕉観覧会(場所:石川県白峰村)主催/白峰村観光協会【☎07619-8-2721】【白峰村産業振興課☎07619-8-2011】白峰村には手取川ダムがある。

《近 畿》

27日(土)・28日(日)/狭山池まつり(場所:大阪府狭山市岩室)主催/同実行委員会 内容/狭山ダム堤防全周を利用して、新しく生まれ変わった狭山池を祝うイベントを行う。【土木部河川室ダム砂防課☎06-6944-6039】

《中 国》

27日(土)・28日(日)/バードウォッチング02in見島(場所:山口県萩市見島一帯)主催/見島観光協会 内容/野鳥観察。約50名。【萩市見島支所内☎0838-23-3311】萩市には見島ダムがある。  
28日(日)/第9回仁賀れんげまつり(場所:広島県仁賀町)主催/同実行委員会 仁賀町では仁賀ダムが建設中。【仁賀公民館☎0846-29-0284】  
28日(日)/尾原ダム「菜の花まつり2002」(場所:島根県木次町尾原ダム貯水池予定地内)主催/同実行委員会【木次町ダム対策室☎0854-54-1221】木次町では尾原ダムが建設中。  
29日(月)/白樺まつり(場所:島根県広瀬町)主催/布部ダム公園管理運営委員会 内容/開会セレモニー、演芸、出店等。【布部公民館☎0854-36-0001】

《九 州》

29日(月)/第9回2002緑川の日(場所:熊本県砥用町緑川流域一帯)主催/同実行委員会【村田☎096-357-7645】内容/緑川流域の一斉清掃等。砥用町には緑川ダムがある。  
下旬/第14回大串ふうぞう祭り(場所:佐賀県富士町)主催/大串ふるさとカンパニー 内容/地元の人と一般の人との交流会。山菜狩り、餅つき等。【富士町建設課☎0953-58-2111】富士町では嘉瀬川ダムが建設中。

5月

《東 北》

26日(日)/第17回タキタロウまつり(場所:山形県朝日村)主催/同実行委員会 内容/魚のつかみどり、遊覧船、カヌー教室、フラワーリース教室、山菜直売等。【朝日村商工観光課☎0235-53-2111】朝日村には月山ダムがある。  
第2または第3土・日/レークピア白水 自然観察&クリーン大作戦(場所:山形県東根市)主催/自然遊(NPO)内容/白水川ダム周辺・湖面の清掃、湖畔ハイク等。【代表:黒田美喜男☎023-653-8864】

《関 東》

3日(金)～5日(日)/第14回鯉のぼりフェスティバル(場所:群馬県万場町)主催/万場町観光協会【☎0274-57-2414】内容/神流川に約800匹の鯉のぼりを雄大に泳がせる。鬼石町には、下久保ダムがある。  
18日(土)・19日(日)/ミニコンサート(場所:東京都奥多摩町水と緑のふれあい館)主催/水と緑のふれあい館【☎0428-86-2731】内容/マリンバ演奏。奥多摩町には小河内ダムがある。

25日(土)/第1回挑戦!「ザリガニ釣り」(場所:埼玉県荒川調節池彩湖自然学習センター)主催/彩湖自然学習センター【☎048-422-9991】内容/全7回の子ども自然クラブ(参加費1回100円)25名まで。

《北 陸》

3日(金)～5日(日)/利賀村春祭り(場所:富山県利賀村)主催/利賀村内各地区 内容/村内各地区において五穀豊穡を願い、各神社へ獅子舞を奉納する。【利賀村役場産業振興課☎0763-68-2111】利賀村では利賀ダムが建設中。  
19日(日)/一里野まんぷくりんまつり(場所:石川県尾口村一里野温泉スキー場駐車場)主催/一里野観光協会婦人部【高原ホテル 山崎☎07619-6-7141】内容/山菜てんぷら、おこわ等の販売。尾口村には手取川ダムがある。

《中 部》

12日(日)/いびがわウェルネス祭(場所:岐阜県揖斐川町役場周辺)主催/揖斐川町【環境課☎0585-22-2111】内容/環境講演会等。揖斐川町周辺では徳山ダムが建設中。  
26日(日)/ミズみずフェスタ揖斐川本流クリーン大作戦(場所:岐阜県揖斐川本流かす川周辺)主催/NPOいびがわみずみずエコステーション【☎0585-22-1732】

《近 畿》

19日(日)/布目湖畔サイクルフェスタ(場所:奈良県布目ダム湖周遊道路)主催/奈良県サイクリング協会【福本☎0744-45-3123】申込み5月8日迄。

《中 国》

3日(金)～6日(月)/三瓶ダム堤体・ダム湖噴水ライトアップ(場所:島根県大田市)主催/島根県大田土木建築事務所【維持管理課管理係☎0854-84-9753】  
26日(日)/第27回にちなみ湖畔マラソン大会(場所:鳥取県日南町菅沢ダム湖畔)主催/日南町【文化センター☎0859-77-1111】申込み4月30日迄。

《四 国》

3日(金)/のむらダムまつり(場所:愛媛県野村町野村ダム周辺)主催/野村町【まちづくり推進課☎0894-72-1111】・観光協会 内容/湖上鯉のぼり、朝霧湖マラソン等。  
29日(水)・10月11日(月)/吉野川水源の森交流事業(場所:高知県本山町早明浦ダム周辺)主催/四国地方整備局、四国四県、地元町村 内容/香川県の中学生或いは吉野川下流域の一般住民参加の植樹祭。【吉野川統合管理事務所☎0883-72-3000】

《九 州》

11日(土)・12日(日)/第8回阿蘇(小国郷)ツーデーマーチ(場所:大分県小国町内)主催/同実行委員会【小国町地域振興課☎0967-46-2111】内容/阿蘇・小国郷を歩く健康ウォーキング大会。当日受付可。小国町には松原ダムがある。

6月6日(木)～8日(土)/ヘップ(HEP)国際セミナー2002受講者募集(場所:東京都豊島区サンシャインシティ)主催/財団法人日本生態系協会ヘップ国際セミナー係【☎03-5951-0244】後援/環境省、国土交通省、農林水産省、日本ビオトープ管理士会 内容/基本概念から丁寧に講義。修了者は合衆国内務省の受講証明書発行。  
(http://www.ecosys.or.jp/eco-japan/)

# 源流学のすすめ

池淵 周一

京都大学防災研究所



健全な水循環の構築が求められてきている。水は循環しつつも、流域では高きから低きに、上流から中流、下流に流れる。上流には自然豊かな森林や、下流の人々の命や暮らしを守るダムがある。都市はこの上流水源地をおろそかにしていないか。人は飲水水源を忘れていないか。

人は古来から問題の根元を上流にたどり、その原因をたつ形でこゝにあたつてきた。健全な水循環の構築にあつても、いま一度、上流水源地に目を向けよう。昨今、上流水源地の過疎化・高齢化が進んで、自然・森林・農地を維持・見守る担い手が少なくなっている。水源地の森やダムは水源涵養、国土保全、環境保全などの機能を担っている。これら機能の一部は水源地域に住む人々の生産活動や文化の継承を通じて維持されてきたわけで、その担い手が少なくなつていくことは水循環の健全さを損ない、新たな環境問題の拡大を招きかねない。

水源地には森の緑、清らかな水、光輝く星空などの自然の魅力はもとより、その四季折々の自然環境は季節感の醸成、観察や体験学習、伝統文化・歴史とのふれあい、探検やスポーツ、散策や癒しなどの場となり、老若男女わけへだてなく享受でき、訪ねたい機会を提供してくれる。上流が元気で、にぎやかになることが自然

にとつても人にとつても健康であることに結びつく。

このことは学問的にも魅力がある。上流水源地の複雑な気象現象や降雨・流出現象、多様な森林・農地の水源涵養、未知の部分の多い水源地生態の解明、またダムの整備や地域振興策、



町づくり、文化・歴史の保全など自然科学、工学、社会科学の関心が上流に向かい、その地であいっどい合流する。人と自然の共生を目指すパラダイムシフトの原点が、この地でもこれらの縦系の学問を横系で紡ぐ形で学際融合する、いわば、源流学ともいうべきにぎやかな総合科学の創造によって生まれるであろう。

# 七ヶ宿ダム 管理用発電を活用した清流回復について

～小原温泉に清流が復活～

## 阿武隈川水系白石川の概要

七ヶ宿ダムのある阿武隈川水系白石川は、宮城県南西部に位置し、流域界が福島県と山形県に接している流域面積813・6km<sup>2</sup>、流路延長60・2kmの阿武隈川最大の支流です。

水源は、蔵王山系に発し七ヶ宿町・小原温泉渓谷・白石市・大河原町を経て、槻木地点で阿武隈川に合流する河川です。

白石川流域には、多くの景勝地と観光施設が



七ヶ宿ダムの直下流の状況（清流回復事業前）

存在し、景勝地としては「特別天然記念物材木岩」、「天然記念物コツブガヤ」及び「景勝地小原温泉渓谷」等を擁していること、また、宮城県南部のリゾート地域との位置付けから、温泉を活用したレジャー施設「スパッシュランドしろいし」、花公園として整備された「スパッシュランドパーク」及び「七ヶ宿ダム湖畔公園」等の施設が整っていることから、宮城県内及び遠くは関東方面から年間6万人の観光客が訪れています。

また、白石川は県内有数の鮎釣りのメッカとしても広く知れ渡っており、解禁日の7月1日には、河畔を太公望が埋め尽くすにぎわいを見せ、シーズンを通じて約2万人が入場します。このように白石川は、地域社会にとってなくてはならない存在となっています。

## 七ヶ宿ダムの概要

七ヶ宿ダムは、阿武隈川総合開発の一環として白石川に建設された直轄の多目的ダムで、平成3年度に完成しました。

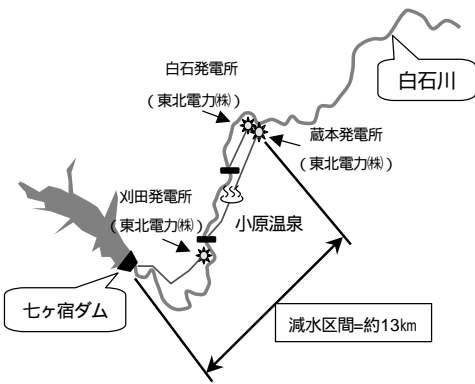


図1 白石川河川環境改善位置図

ダム等諸元は、次の通りです。

ダム形式	中央コア型
集水面積	236・6km <sup>2</sup>
堤高	90m
総貯水容量	109、000千m <sup>3</sup>
有効貯水容量	99、500千m <sup>3</sup>
内 洪水調節容量	35、000千m <sup>3</sup>
利水容量	64、500千m <sup>3</sup>

国土交通省 東北地方整備局  
河川部河川調整課 課長

調整係長

大嶋 武志  
中川 博樹

目的としては、洪水調節、河川環境の保全のための流量の確保、かんがい、上水道・工業用水の補給があり、特に利水面では、東北地方の中核都市である仙台市を中心とする仙南・仙塩地域の183万人の水がめとして大きな期待が寄せられています。

一方ダム下流には3箇所が発電所があり、減水区間が生じ、河川環境に影響が生じています。

(図1)

### 清流回復の背景及び区間

七ヶ宿ダム計画時点(実施計画調査開始昭和48年)では、河川正常流量として白石川の基準地点である大河原地点で $6.0 \text{ m}^3/\text{s}$ を確保することとして計画されています。

したがって、大河原地点で $6.0 \text{ m}^3/\text{s}$ の流量があればダムでは補給しなくても良いことになり、ダム直下流部並びに発電減水区間には流水がなくなることもあり得る計画となっています。

このようことから、ダム直下流の特別天然記念物の材木岩地点並びに発電の減水区間(約13km)である小原温泉溪谷地点での流況の悪化にともない関係市である白石市より清流復活の要望がなされていました。

このため、国土交通省では発電事業者である東北電力(株)の協力を得て、 $0.8 \text{ m}^3/\text{s}$ (ダム地点 $0.34 \text{ m}^3/\text{s} / 100 \text{ km}$ )の流量を放流することとし、運用してきました。

しかしながら、本流量では小原温泉溪谷地点では十分な流量とはいえず、さらなる増量の要望が白石市を通じて行われています。

このことは、小原温泉そのものが浅層の岩盤に地下水が浸透し熱せられ温泉としてわき出していることから、河川水が少なくなると地下水供給が減少し、温泉水が減少すること、並びに温泉溪谷での景観がそこなわれ、せせらぎとしての川音もなくなることが、要望の趣旨でした。

### 全国初の清流回復の方法

国土交通省では、地元要望を勘案し、減水区間となっている小原温泉付近の河川環境において必要となる流量を調査した結果、生態系の維持・保全と河川景観の確保の目的から、6月から1月の期間において、 $1.8 \text{ m}^3/\text{s}$ を確保する必要のあるものとなりました。

しかしながら、現在運用している $0.8 \text{ m}^3/\text{s}$ は東北電力(株)の協力を得て行ってきたもので、これ以上の協力での対応は減電量が大きくなり非常に難しい状況であることから、別途、何らかの方策を考える必要がありました。

そこで、減電量の補償対策として、白石川上流七ヶ宿ダムの管理用発電で余剰となっている発生電力量(年平均約20,000kW/h)の振り替えを全国初の施策として行い、河川環境の改善を図ろうとするものです。

減電補償の具体的な考え方は、七ヶ宿ダム管理用発電所により発生した電力量の内、ダム管理設備に必要な電力量を差し引き、残りの余剰電力量を利用し、電力会社の増放流により生じる減電量に充当するものです。

ただし、七ヶ宿ダムには、特定利水者として宮城県の仙南仙塩広域水道(確保容量49、

100km<sup>3</sup>)及び仙南工業用水道(確保容量4,600km<sup>3</sup>)が参加しており、管理用発電による余剰電力売電による雑収入は、利水者のダム管理費を低減させる効果もあることから、本施策において減電補償に充てる余剰電力量は、河川管理者への割振り分から充当するものとなりました。(図2)

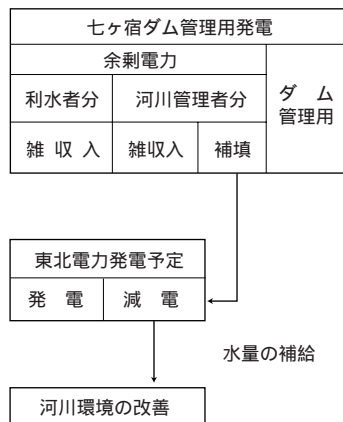


図2 減電補償の考え方

### 今後の取り組み

最後になりますが、今回の取り組みは既設ダムの有効資源を活用した、新たな河川環境改善に関する施策であり、これからの水資源の再編・有効活用に関する時代のニーズにも即応するものです。

今後は、これから後に続く事例に先駆けて、関係利水者との協定方法や、適正な河川管理に向けた利水者との情報の共有化方法、また、施策実施後の調査・評価方法に関する整理と知見の集積を重ね、本施策の有効性に関する検討を行っていくことが課題と考えています。



# 「利賀初午祭」の模様

岐阜県から富山湾に流れる庄川しょうがわは、流域住民にとって母なる川として大きな貢献を果たしてきた一方、洪水との戦いの歴史でもありました。安定した生活基盤を確保するため、

洪水調節、河川環境の保全のための流量の確保、上水道・工業用水の確保と発電を目的として、平成5年より、支川の利賀川に於いて利賀ダムが建設着手、促進されております。



祭の子どもたち

毎年、年の初めに豪雪のなかで小学生の子どもたちが自主的に練

さて、利賀村の初午は今から約200年前より五箇山の利賀地方に伝わる、全国的にも珍しい子どもたちだけで行うお祭り行事です。当時、利賀村は農業のほかに主産業として養蚕を取り入れ全国に普及し、経済を支え、村の発展にも大きな比重を占めていました。この初午行事は、その歌にもうたわれているように、養蚕事業の繁栄を祝い、その年の豊作と蚕の増収、家内安全を祈願するものです。

習し、旧正月（1月15日）に近い日に各戸を巡回訪問し、上演するものです。

初めに神主が祝詞を奉上し、続いて藁で作った牛の頭と尾を持ち、布をかぶった二人の子どもが、歌と太鼓に合わせて舞い踊ります。最後に俵ころがしが「豊年の福俵でござい」と歌いながら、俵をころがし「福の神」を各戸に置いていきます。

昭和57年12月には、「利賀のはつうま行事」として、文化庁より国の「記録作成等を構すべき無形の民俗文化財」に選択されました。

さらに翌58年には、内閣総理大臣より「芸術文化に輝く人々」として、首相官邸に招待される光栄を賜りました。

現在では村内の各種イベントにも協力していただいて、会場を盛り上げてくれます。

以前は、男子だけで行ってきた「初午行事」ですが、時代の流れや過疎化により女子も参加しています。この素晴らしい行事が少しでも長く語り継がれるように期待しております。

ガンバレ利賀っ子！

富山県 利賀村  
建設課主任 野原 克仁





おのの大野ダム  
京都府

# 誰もが「田舎」を取りもどしホッとする ちよっと一服おしゃべり処「ふるさと茶屋・美山案内所」

茅葺き民家の生きる町として重要な伝統的建造物群保存地区にも選定された、京都・美山町の西玄関に、大野ダムがあります。昭和36年（1961）、由良川水系に多目的ダムとして完成し、ダムサイト公園では、「さくら祭り」「もみじ祭り」のイベントやボート・パターゴルフ場などで、年間約10万人の人々を迎えます。広大な大野ダム公園には、ダム築造時に約1000本の桜と500本の紅葉が植えられ、自然の美しい公園として府内有数の行楽地です。これら

の木々はすでに成木し、ダム管理事務所の管理用地以外は地元で管理されています。私たちは行政や商工会・観光協会等に全面依存するのではなく、住民自らが主体となって活動しています。昭和62年（1987）頃に「むらおこし推進委員会」を立ち上げ、ボート・パターゴルフ場等を有限会社とし、「青空野菜市」は組合組織で経営しています。

平成12年度には、（財）ダム水源地環境整備センターより「ダム水源地活性化支援事業」に認定され、私たち「大野ふるさと振興会」の活動へ3年間の支援がなされています。年間を通じてのイベントなどはこの振興会が運営にあたります。

しかし、冬期は行楽客も減少することから、会では毎年1月から3月末までの毎週日曜日に「ちよっと一服、おしゃべり処 ふるさと茶屋・美山案内所」を開設しています。従来、冬期間には閉鎖されていた管理棟を開放し、赤い毛氈の床几を出し地元産の「美山茶」や甘酒をサービ

スしています。町の総合案内をしながら地元産品の販売も行われ、一日平均200人近い人々が立ち寄り、

お茶を飲みながらおしゃべりを楽しんでいます。そして美山手づくりの物産品を、お土産にとお求めになっています。ここでは、誰もが懐かしい「田舎」を取り戻し、ホッとされているようです。「ふるさと茶屋」には温もりのある空気が満ちています。そして、4月の「さくら祭り」の再会を交わし帰って行かれます。

大野ダム公園は私たちの活動の拠点であり、お客さまのオアシスでもあるのです。

お茶を飲みながらおしゃべりを楽しんでいます。そして美山手づくりの物産品を、お土産にとお求めになっています。ここでは、誰もが懐かしい「田舎」を取り戻し、ホッとされているようです。「ふるさと茶屋」には温もりのある空気が満ちています。そして、4月の「さくら祭り」の再会を交わし帰って行かれます。



桜咲く大野ダム湖畔



旅行者でにぎわう「ふるさと茶屋」

〔京都府 美山町  
大野ふるさと振興会長 東 慧〕



石川県

# 文弥人形のふるさと尾口村

霊峰白山より、石川県美川町へ注ぐ手取川に建設された手取川ダム。このダムの建設は、昭和49年起工、同54年に洪水調節、上水道・工業用水の供給、発電を目的として完成しました。この尾口村に今も根づいている「文弥人形浄瑠璃でくの舞」をご紹介します。



文弥人形・舞台の様

見事な人形たちの舞

その起源は、今から約350年前に、村の有志が関西方面へ出向いた折、当時流行していた人形浄瑠璃を村へ持ち帰ったものとされています。「文弥」とは、大阪で人気があった浄瑠璃太夫「岡本文弥」の流れを汲むもので、「文弥の泣き節」として知られています。語り口は1670〜1700年頃流行していましたが、元禄期に入り文楽の基礎、竹本義太夫の「義太夫節」が主流となり、現在の語りは全国で4カ所のみとなっています。また、人形の形式や操法も、一人遣い、両手袖突つ込み式。「三番叟・口上・初段……」と語る太夫に笛、三味線、太鼓が加わり舞人の巧みな足拍子は文弥の原形をとどめているものとして、昭和52年5月、国指定重要無形民俗文化財に指定されました。現在上演可能な演目は、「源氏烏帽子折」・「門出八嶋」・「出世景清」・「大職冠」・「酒天童子」・「姫山姥」の6演目。かつては旧正月にお寺等で上演されていました。現在では尾口村東二口の「歴史民俗資料館」において、毎年2月の第2・3土曜日に上演されています。



子どもたちの人形操作体験

ます。日曜の昼の部には、金沢よりバスの運行も行われています。文弥人形浄瑠璃保存会は、現在会員数が一般11名、小・中・高校生6名を含め計17名で、今後の伝承活動が悩みの種となっています。会の活動として、村内小中学校の生徒に、ゆとりの時間を利用し指導を行っています。また、同保存会の長年の願いが叶い、昨年は北海道での公演を実現しています。明治24年頃、東二口の住人が移住した地での開催の運びとなり、大きな反響を呼びました。皆様も是非一度当地を訪れ、人形たちの見事な舞をご鑑賞下さい。

石川県 尾口村  
 商工観光課長 山口 一男



みどりかわ  
緑川ダム  
熊本県

# 緑川ダム「第16回ワカサギ釣り大会」開催

石橋と山と湖の里・砥用町とよもち

熊本県砥用町は、県中央部に位置し四面を山に囲まれた自然豊かな町です。昭和46年に緑川総合開発事業の一環として緑川ダムが完成し、昨年30周年を迎えています。町ではダム一帯を観光の拠点として、キャンプ場、テニスコート等の整備を行い国土交通省(当時運輸省)より「家族旅行村」として、また熊本市より「いこいの町」の指定を受けています。

ダム周辺一帯では、マラソン大会、みどり川湖どんと祭、ワカサギ釣り大会、桜のライトアップ、緑川ダムフェスタinともち等のイベントが行われ、たいへん好評で多くの

人々にぎわっており、年間約30万人の方が訪れています。なかでも今年で16回を迎えたこの「ワカサギ釣り大会」は、緑川ダムをワカサギ釣りのメッカとして、一層の観光振興を図ることを目的に実施しています。

今年2月10日(日)に開催され、遠くは山口県をはじめ県内外から約200名の釣人が参加されました。当日午前6時から9時まで受付、競技は正午まで行われ、高校生以上の大人の部、中学生以下の子どもの部の2部門に分かれて釣果の総重量を競い合いました。当日は、時折太陽が顔を出すものの厚い雲が空を覆い、冷たい季節風が吹くなかでの挑戦となり、初心者の方には厳しい気象条件であったようです。

正午から検量が始まると、多くの人が周辺に集まり検量ごとに喚声が上がっていました。地元砥用町の野本次雄さんが875g(約150匹)を釣り上げ、2位を300g近く離しての堂々の1位、また中学生以下の部では540gを釣った大塚昭平君(砥用町励徳小6年)が優勝に輝

きました。また競技終了後はお楽しみ抽選会が行われ、参加者に釣り用品やキャンプ場のキャビン宿泊券が抽選で当たり発表のたびに歓声が上がり、大いに沸きました。

今後この「ワカサギ釣り」は、ファミリー向けの手軽な釣りとして人気が高まり、愛好者も増えてくるものと期待を寄せています。



緑川ダム湖で



入賞者で記念撮影



検量風景



熱心な釣人たち

熊本県 砥用町  
企画観光課 上田 隆信

# 人と地球に優しく自然と共生 健康と長寿の町づくりを目指して



岩手県東和町  
開発商工課 商工観光係長

浅沼 克之

## 東和町の概要

東和町は、岩手県のほぼ中央に位置し、東西を二分するように流れる北上平野と、県東半分を貫く北上山地にまたがる面積約157km<sup>2</sup>、人口約1万1000人の町です。

本町は、東は民話のふるさと遠野市と至近距離にあり、西は温泉郷を有する花巻市に接し、広域観光ルート上で恵まれた位置にあります。産業は、稲作や畜産、果樹を中心とした第一次産業と、全国で約7割の生産を誇るホームスパンの製造をはじめ、関東・関西方面からの企業進出による第二次産業とが町の基幹産業の主流をなしています。

本町の自慢は、「日本一」を誇るものが二つあることです。ひとつは、前述に紹介した



毘沙門天立像

ホームスパンの生産量、そしてもうひとつが、国の重要文化財、毘沙門天立像です。北成島地域内に安置されているこの立像は、ケヤキ一本彫りの仏像で、その高さは4・73mと一本の木で作られた彫刻でこれほどの大きさは全国でも例がなく、まさに日本一です。この毘沙門天立像が祀られている境内の土俵では、9月に行われる神事・十二番相撲にヒントを得、春のゴールデンウィークが始まる時季に「全国泣き相撲大会」が催されます。



「全国泣き相撲大会」の豆力士

田瀬ダム全景



全国各地から満一歳の豆力士500人が土俵に集い、涙あり笑いありの取り組みを展開し、観客を大いに楽しませてくれます。

## 田瀬ダムと地域振興

本町には、昭和16年、北上川水系猿ヶ石川に国の直轄ダムの第一号として、田瀬ダムが着工され、同29年に完成しています。この田瀬ダム



は洪水調節、かんがい、発電など多目的ダムとして活用され、産業文化の一大変革とも言わべき地域の発展に大きな役割を担っています。

また、淡水魚の宝庫としても知られ、なかでもヘラブナは30cm級の巨ベラが釣れることで知られ、全国からヘラブナ師が訪れています。

昭和48年頃から田瀬湖を中心とした観光開発を進めるべく民間活力が導入され、伊豆箱根鉄道が田瀬湖畔の観光開発に乗り出しました。これにより同52年、約3haの土地に20万

田瀬湖あやめ苑



株、200種類ものあやめ苑とドライブイン・レストラン、湖畔には東北一を誇るあやめ苑が整備されました。

以来、毎年開花期には「田瀬湖あやめまつり」と銘打ちイベントを展開し、町内外から多くの観光客でにぎわっています。

また、昭和63年には国土交通省(当時建設省)が創設した「ダム湖活用促進事業」(レイクリゾート事業)に田瀬ダムが全国第一号として事業採択をいただき、豊かな自然を資源として活用したアウトドアのレジャー施設等が整備され、平成12年度に完了の運びとなりました。完成した施設をご紹介しますと、ファミリーでも気軽に楽しめる「釣り公園」、「オートキャンプ場」、子供たちに人気の丸太の大規模遊具やバーベキューハウスなどの「ふれあいランド」、イベント広場やあやめ苑に通じる遊歩道などがあります。また、ダム湖右岸にはヨットやカヌーなど各種舟遊びが楽しめるヨットハーバーが整備され、平成11年には、インターハイのボート競技が開催されました。更には早稲田・明治・東大など、首都圏の大学ボートの合宿地としてシドニー五輪の日本代表選手強化合宿場にも活用され、五輪大会では堂々の入賞を果たしました。

### 資源活用による町おこし

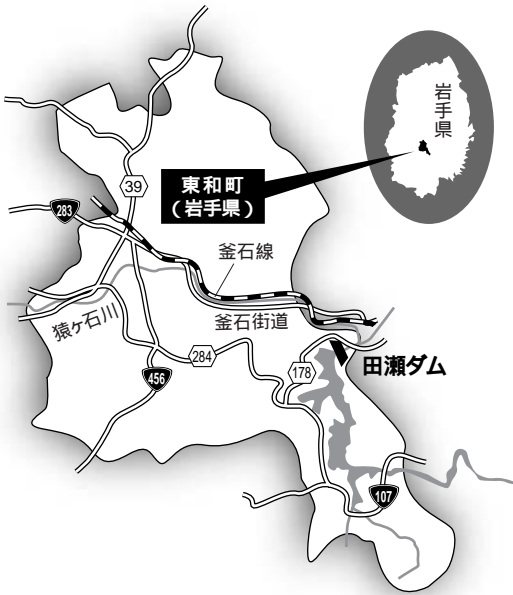
豊かな自然に恵まれ、深い歴史と文化の薫る



咲き誇るあやめの群生

本町にはさまざまな観光資源を数多く有しています。平成8年に湧出した北上山系初の東和温泉は、町民をはじめ訪れる人のリフレッシュと健康増進に好評を博しています。温泉に隣接する西洋風庭園では、園芸療法を取り入れ障害者のリハビリにも役立っています。

田瀬湖とその周辺に代表する自然資源、数々の文化財、美しい景観、地域の生活伝承文化、郷土芸能などこれらの資源を有効に活かし、グリーンツーリズムの推進やエコ・ミュージアム構想の実現を推進し、そこに住む人と文化と生活を体験し、また五感に心地よく、心を癒せる住みよい町を創っていきたく考えています。



# 水源地エキスパート制度

財団法人ダム水源地環境整備センター  
調査第一部

## 水源地エキスパート制度とは

水源地エキスパート制度は、ダム建設に伴う水没関係者の移転地などの生活再建対策、水源地域振興対策やダム建設事業をめぐる関連地域関係者の実務や諸手続きを実際に経験された方からのアドバイスや指導を受ける制度です。この制度は財団法人ダム水源地環境整備センターが平成4年度より運営を行っています。

## 水源地エキスパートの役割は、次の通りです

- 指導、助言、講演の依頼
- エキスパート会議での情報交換
- 水源地の日常的な情報連絡の活動
- 水源地のPR活動

## 第5期（平成12年・13年度）のエキスパート名簿

（敬称略）

ブロック	氏名	役職	備考
1 北海道	吉田 勇治	札内川上流地域開発研究センター所長	札内川ダム
2 東北	小田島 峰雄	岩手県東和町長	田瀬ダム
3 北陸	中谷 延之	富山県宇奈月町長	宇奈月ダム
4 関東	高畑 彰	群馬県東村長	草木ダム
5 中部	武重 善博	長野県木祖村長	味噌川ダム
6 近畿	馬場 日出夫	奈良県山添村長	布目ダム
7 中国	景山 一	島根県頓原町長	志都美ダム
8 四国	篠永 善雄	愛媛県伊予三島市長	富郷ダム
9 九州	後藤 文男	大分県野津原町前助役	大分川ダム
10 補助	木幡 恒雄	宮城県大和町前町長	南川ダム
11 補助	吉田 英義	和歌山県美山村前助役	椿山ダム
12 全国	三宅 雅子	作家・中部ペンクラブ参与 水源地対策懇談会委員	

## 水源地エキスパート会議・講演会の紹介



講演会の様子（三宅 雅子氏）



エキスパート会議で情報交換の様子

## 第5期 水源地エキスパートの講演一覧

（敬称略）

	講演名	主催	講演者
1	「ダムを資源とした地域づくり」	岩手県河川総合開発協議会主催	小田島 峰雄
2	「ダムを活用した地域活性化について」	竹田水害緊急治水ダム建設協議会主催	景山 一
3	「大分川ダム」建設事業に伴う諸問題	佐賀県城原川ダム対策委員会主催	後藤 文男
4	「ダムを活用した地域の活性化」	仁賀町ダム対策協議会主催	吉田 英義
5	「ダムと地域づくりシンポジウム」	鳥取県主催	三宅 雅子
6	「水源地域ビジョン - 全国水源地の状況 - 」	北上川ダム統合管理事務所主催	三宅 雅子
7	「地域住民とダム事業」	国土交通大学校	武重 善博
8	「地域住民とダム事業」	国土交通大学校	木幡 恒雄
9	「技術者の生き方」	国土交通大学校（当時 建設大学校）	三宅 雅子

## 水源地エキスパートの日常的な情報連絡活動・水源地のPR活動の紹介



### 【椿山ダム】

『紀の国美山マラソン大会』などのイベントの企画や、椿山ダム周辺の環境整備事業を行いました。

吉田 英義氏（和歌山県美山村前助役）



### 【札内川ダム】

石を題材にアイヌ民族の裸族伝説の続編を創作し地域の文化の掘り起こしを行っています。

吉田 勇治氏（札内川上流地域開発研究センター所長）



### 【富郷ダム】

『ふれあい交流in富郷ダム』を実施し、水源地域と利水地域の交流を行っています。

篠永 善雄氏（愛媛県伊予三島市長）



### 【草木ダム】

『草木湖まつり』を開催し、ダム湖を利用した地域の活性化を行っています。

高畑 彰氏（群馬県東村長）



### 【布目ダム】

『やまぞえ布目ダムマラソン大会』を実施し、ダム周辺施設を活用したイベントを行っています。

馬場 日出夫氏（奈良県山添村長）



### 【味噌川ダム】

サマーキャンプを実施し、下流の名古屋市、日進市との上下流交流を行いました。

武重 善博氏（長野県木祖村長）

【問合せ先】 財団法人 ダム水源地環境整備センター 調査第一部  
〒102-0083 東京都千代田区麹町2-14-2 麹町NKビル2・3F TEL : 03-3263-9925 FAX : 03-3263-9922

### 編集メモ

今年の春は、桜の開花が大変な前倒しでした。地球政策研のレスター・ブラウンは、2001年は史上2番目に暖かい年だった可能性がある、と言っています。氷河の後退も加速気味のようです。

湖沼等では、平均水温の上昇で、さまざまな現象が起こるだろう、という予測があります。林などを含め、水源地に変化が生じる可能性もあるようです。パセオにご提唱の源流学レベルの、高度に複雑な変化です。

## 第8回紀の国美山マラソン

3月10日、「第8回紀の国美山マラソン大会」が和歌山県美山町椿山ダム湖畔で開催された。

メイン種目であるフル・ハーフの部（その他5キロ、3キロの部がある）は起伏の激しい難コースだが、美しい景色と澄んだ空気、沿道からの熱心な応援はランナーたちからモ定評があり、この大会の大きな魅力となっている。



今年も北は北海道、南は大分県まで全国各地から936名のランナーが自然豊かな山里を駆け抜け、830名の選手が完走した。また、小鴨由水さん（バルセロナ五輪出場のマラソン選手・ハーフマラソンの部へ出場）、新藤栄作さん（美山村出身の俳優として舞台や映画等で活躍・5

キロの部へ出場）の両ゲストラランナーも見事完走を果たした。

## 第3回青江ダム駅伝大会

3月3日、大分県津久見市で青江ダム駅伝大会がダム湖周辺のコースで行われた。この大会は、「地域に開かれたダム」整備計画を策定した際市民の交流とダムを多目的に利用していたために始めたもので、今回は約70名が参加した。



当日は朝から快晴に恵まれ、春の陽気のなかで、職場や家族などで編成された9チームが元気にタスキを継いだ。

大会後は、ダム公園で焼肉やクロメ汁で親睦を深め、毎年夏に青江ダムで野外コンサートを開催している「ザ・こんせ」の演奏と参加者の歌で大いに盛り上がった。

武蔵水路パネル展示等  
PR活動

2月24日、東京都墨田区で「第18回国技館5000人の第九コンサート」が開かれた。会場へ来場された方々へ、東京都と埼玉県のライフレイン（水の生命線）であり利根川から荒川へ水を送る『武蔵水路』の役割を紹介するパネル展示等を実施した。

このコンサートは、1985年に「国技館」が両国に戻ってきたことを祝して開催されたのが始まりで、北海道から沖縄まで全国の合唱団が集まっている。来場者の多くは首都圏の方々であり、武蔵水路の果たす役割や利根川と荒川、隅田川のつながりを広くアピールした。

「とどろみ」  
止々呂美の炭焼き  
勉強会実施

2月23日、大阪府箕面市に建設予定の余野川ダムでは水際空間の整備・活用に関する取り組みの環として、止々呂美の炭焼きに関する勉強会を実施した。この勉強会は平成12年度に実施したワークショップで提案された人材育成、組織・プログラム作りの一環として、今年度に全4回実施した体験学習の一つである。

当日は、現在も炭焼きを続けておられる方を講師に招き、ワークショップの参加者約10名で、炭焼きにまつわるさまざまな話を聞かせていただくとともに、実際に炭焼きや火入れを見学した。

